

学校教育目標及び学校経営方針

1. 学校教育目標

未来に向かってしなやかに伸び続ける

歴史と伝統ある地域の竹林のごとく、困難に対しても折れることなく、自己実現に向けて挑み続け、志高く、未来を創造する人になる

2. 育成する資質・能力（教育目標実現のために必要な力）

- Overcome 挑戦力
- Adapt 適応力
- Advance 未来像を描く力

3. 目指す子ども像（卒業までに実現させたい姿）

- 困難なこともあきらめずに、挑戦し続ける子
- 新たな環境の中でも自信をもって、適応できる子
- 未来像を描き、仲間と共に歩める子

4. 目指す学校像（教育目標実現のために必要な学校の姿）

- 学び続ける価値を見出し、成果として成長の証を確かに感受できる学校
- 豊かな感性の醸成や自己存在感の感受をもとに、自己指導能力の獲得を目指す学校
- 他者とともに社会の担い手としての、自覚や責任を育む学校
- すべての人にとって、安全安心が感じられる学校

5. 目指す教職員像

10年後、20年後の子どもたちの人生設計を常に意識し、一人一人の自己実現に向けた支援の在り方を模索し、未来に求められる社会の形成者の育成を目指す。その過程においては、過去の経験論的な視点から脱却し、教職員自身が協働する教育の実践を目指す。

- 粘り強く学び続けることの価値を伝えられる教職員
- 多様な考えや選択肢から、自他にとって適切な結論を導くための支援ができる教職員
- 社会の形成者を育成する信念をもって、未来を語る教職員
- 子どもや同僚にとって、心理的安全性が高まるよう協働する教職員

6. 学校経営方針

- 【洛西陵明学び】主体的な学習とその継続的な動機付け
 - ・ 授業改革と家庭学習の習慣化およびその連動
 - ・ 形成的評価の実践
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの再確認

- 【洛西陵明の自立・自律】社会性や公共心の育成
 - ・ 発達支持的生徒指導の充実
 - ・ 自治活動の活性化
 - ・ 公共の精神に基づく態度の育成
- 【洛西陵明のキャリア形成】自己実現に向けた教育活動の実現
 - ・ 教育課程への理解促進
 - ・ キャリア形成支援
 - ・ 社会とつながりのある教育活動

7. 重点取組項目

- 義務教育9年間の系統的な教育活動の実践
- 授業改革
- KYOTO×教育DX(最終年)⇔2ndGIGA(R8 延長決定)のICT活用推進
- 評価計画
- 非認知能力の育成
- 実践的英語教育の推進
- 総合的な学習の時間
- 道徳教育の充実
- 自治活動の充実
- 規範意識の醸成
- 学年担任制の充実
- 裁量的な学習の時間の実現
- 働き方改革